



お知らせ

記者発表資料
配布日

令和7年12月26日

■同時発表先：山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ

【山口県港湾 水際・防災対策連絡会議 発表】

徳山下松港で発見された不発弾処理の一環として 金属反応が確認されている6箇所の潜水探査を実施しました

山口県港湾水際・防災対策連絡会議（徳山下松港不発弾処理に向けた連絡調整会議）を11/14以降、継続的に開催し、関係者が一同に会して徳山下松港で発見された不発弾の早期処理に向けた検討を行っています。

今般、不発弾付近で金属反応が確認されている10箇所のうち6箇所の潜水探査を実施した結果、新たな不発弾は発見されませんでしたのでお知らせします。

不発弾を現在の位置で水中爆破処理するにあたり、不発弾付近で金属反応が確認されている10箇所について、これらが不発弾である場合には誘爆の可能性を排除できないため、事前に潜水探査をして土中に埋まっている磁気異常物が何かを確認する予定としておりました。

9/5に発見された不発弾はわずかな振動や衝撃により不意爆発する危険性があり、潜水探査の作業に伴う振動の有無を確認するため、12/15～17に、ほぼ同様の土質条件となる別の場所で試験探査を実施しました。

→試験探査の概要 [別紙1](#)

試験探査の結果を踏まえ、不発弾の位置から40m以遠の6箇所について12/23～24に県が潜水探査を実施した結果、新たな不発弾は発見されませんでした。

→潜水探査位置 [別紙2](#)

潜水探査の実施にあたっては、徳山海上保安部による作業の許可、また海上自衛隊呉地方総監部による水中処分母船の現場海域待機など、関係者が連携して対応しました。

なお、不発弾の位置は当初、出光興産東栈橋から西へ約30m離れた海底にあるとしていましたが、不発弾位置を再度測量したところ、東栈橋から西へ約48mの位置にあることがわかりました。

不発弾近傍の4箇所が探査できないことや不発弾位置を再度測量した結果を踏まえ、今後の不発弾処理の対応について、継続して関係者で協議を進めていきます。



潜水探査状況（令和7年12月23日撮影）

<問い合わせ先>

山口県港湾水際・防災対策連絡会議 事務局

国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

徳山下松港出張所

0834-31-0409（代表）

副所長 古藤 順一

沿岸防災対策官 山崎 教正

事務所HP：<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>

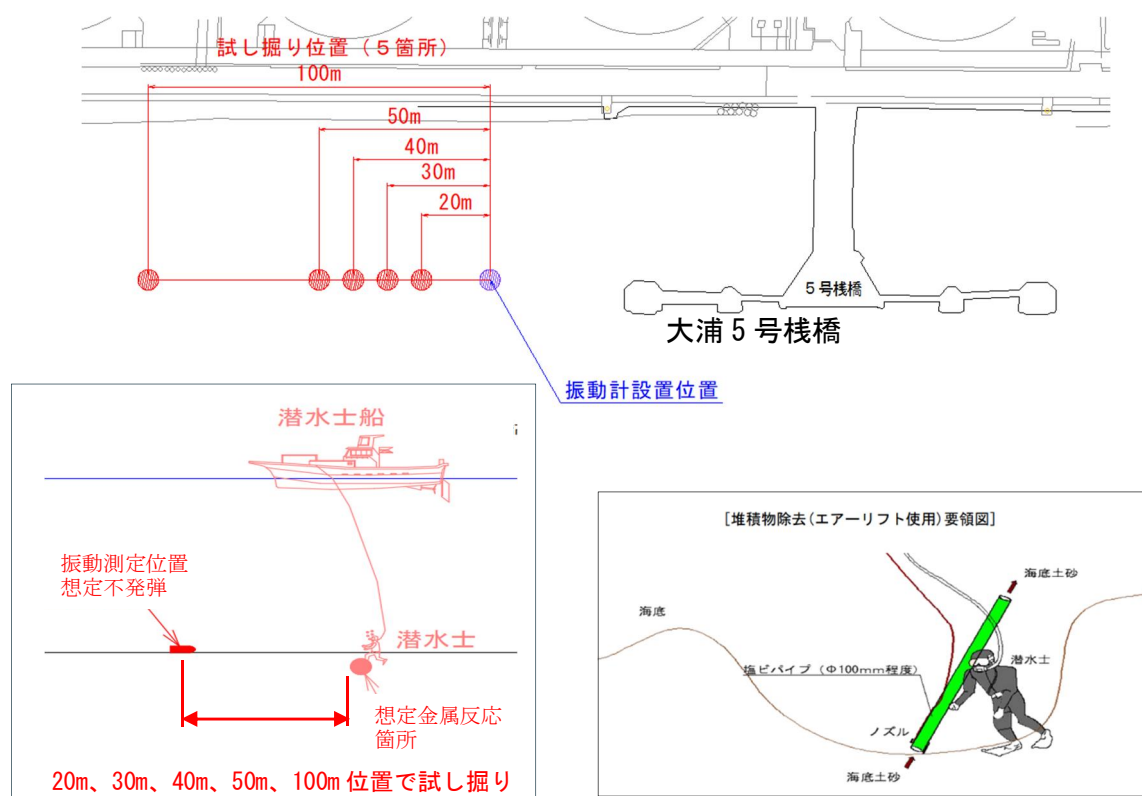


○位 置



○内 容

- ・仮に想定した不発弾の位置から、20m、30m、40m、50m、100mの計5箇所で試し掘りを実施
- ・想定不発弾位置に振動計を設置し、試し掘りによる振動を計測
- ・海上自衛隊は、想定不発弾位置にて、体感で振動の有無を確認



○試験結果

	20m	30m	40m	50m	100m
振動計	僅かな振動を計測	僅かな振動を計測	変化なし	変化なし	変化なし
海上自衛隊	僅かな振動を体感	体感なし	体感なし	体感なし	体感なし

【潜水探査位置】

